



## 伝承芸能大会プログラム

	時程	内容	摘要	備考	
	13:00~13:30	受付			
	13:30~13:50	開会行事	会長あいさつ、来賓祝辞	20分	
1	14:00~14:15	演 目	つるかめ 舞 ほか 鶴亀の舞	肥前島原子ども狂言	15分
2	14:15~14:30		しらぬい たいこ 鼓 不知火太鼓	島原市立第二小学校 不知火太鼓クラブ	15分
3	14:30~14:45		しまばら どう づき なた 島原土搦唄	島原市立三会小学校 土搦唄伝承クラブ	15分
	14:45~15:00		(休憩)		(15分)
4	15:00~15:15		はちまんじん じゃふ 八幡神社浮立	三之沢浮立子ども会	15分
5	15:15~15:30	みょう じょう 星 有明の舞岳太鼓		15分	
	15:40~16:00	閉会行事	賞状授与、閉会あいさつ	20分	

子どもの心にふるさとを

平成30年度 第40回

# 長崎県子ども会伝承芸能大会

○とき 平成31年1月20日(日)  
開演 13時30分(開場 13時)

○ところ 有明総合文化会館  
有明町大三東戊1382 (TEL 0957-68-5800)

### 開会行事

- 1 開会のことば
- 2 県子連会長あいさつ
- 3 来賓祝辞  
・長崎県教育委員会  
・島原市教育長



(一財)長崎県子ども会育成連合会  
友情・奉仕・鍛錬

### 閉会行事

- 1 賞状ならびに記念品贈呈
- 2 講評
- 3 開催地会長あいさつ

主催：(一財)長崎県子ども会育成連合会 島原市子ども会育成連絡協議会  
共催：島原市教育委員会  
後援：長崎県教育委員会 長崎県青少年育成県民会議 長崎新聞社  
NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送  
NIB長崎国際テレビ 島原新聞社 ひまわりテレビ カポチャテレビ

入場無料

# 長崎県子ども会伝承芸能大会 演目紹介

長崎県子ども会伝承芸能大会は、昭和54年に始まり、本年度で40回目を数える長崎県子ども会育成連合会の事業です。

開催にあたっては、地元島原市子ども会育成連絡協議会ならびに島原市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。

この大会は、発表をとおして子どもたちに伝承芸能を継承しようとする自覚と意欲を高め、子ども会活動の振興と発展に寄与するとともに、鑑賞いただく大勢の方々へ伝承芸能継承への認識を新たにさせていただこうとするものです。

本年度の第40回大会は島原市での開催となり、島原市内から5団体が発表します。これまでの練習の成果をご鑑賞いただき、熱演された皆さんに、賞賛と励ましの大きな拍手をおくってくださいませようお願いいたします。

出演団体には、長崎県子ども会育成連合会より、賞状と記念品を贈ります。

## 1 鶴亀の舞 ほか



【肥前島原子ども狂言】

城下町島原では江戸時代から能楽が演じられ、城内の能楽堂では庶民も藩主に招かれて演じていました。

このような島原の伝統芸能を子ども達にも伝えようと、平成16年に「島原子ども狂言ワークショップ」を立ち上げました。和泉流狂言師・野村万禄先生の御指導のもと、島原城新能での発表を目標に、毎年稽古を重ねてきました。今年度は15周年を迎えます。

火山都市国際会議、ジオパーク国際ユネスコ会議の舞台で日本の素晴らしい伝統芸能として披露するなどの取り組みが認められ、平成28年には「島原半島文化賞」を受賞しました。この受賞を機会に、正式名を「肥前島原子ども狂言」とあらためました。これからも島原の歴史と文化をしっかりと継承していきます。

## 2 不知火太鼓



【島原市立第二小学校】  
【不知火太鼓クラブ】

寛政4年（1792年）雲仙岳の噴火のとき、多くの人々の命がなくなり、もう二度とこのようなことが起きないように祈りを込めて力強く打ち鳴らした太鼓が「不知火太鼓」の始まりです。

第二小学校の不知火太鼓クラブは現在11名。クラブスタートから長池要七先生の指導のもと頑張っています。

平成5年には「学習利用促進事業」の一講座として「子ども不知火太鼓」を開講、平成8年には島原半島民俗芸能大会に参加しました。平成21年には長崎県教育委員会表彰を受賞し、その後は毎年、市民音楽祭や敬老祝賀会など市や地域行事等に多数出演しています。

## 3 島原土搗唄



【島原市立三会小学校】  
【土搗唄伝承クラブ】

私達の郷土では、建物を新築する場合の基礎工事の土固め作業として、昭和30年頃までは総て人力で作業がなされ、人力の結集と人夫の意気高揚などのために、作業唄として、また祝い唄として土搗（ドーツキ）唄がうたわれていました。

三会地区では、その土搗を郷土の文化遺産として位置づけ、後世に伝える目的で平成6年に「島原土搗唄保存会」を発足しました。

現在会員は、老人会をはじめ、町内会・婦人会・育成会など約90名で構成され、三会温泉神社祭りの奉納踊りや島原温泉不知火まつり、三会ふれあいフェスティバルなど大人から子どもまで参加して活動しております。

平成30年3月には、島原市役所新庁舎起工式に参加し、土搗の実演を披露しました。

## 4 八幡神社浮立



【三之沢浮立子ども会】

古くから有明町三之沢八幡神社では、毎年8月下旬、風除祭が執り行われています。これは丁度、台風襲来の時季に合わせ、台風から稲を守り、五穀豊穡と氏子の安寧を祈願するもので、神輿の渡御が行われ、行列約100名になる地域総出のお祭りです。

浮立はこの渡御で御旅所までの道中（お下り・お上り）、大人達が笛と謡、子ども達がそれに合わせて太鼓を打ち奉納するもので、その笛・太鼓の音と様子がお祭り気分を一層醸し出しています。

子ども達には、この伝統芸能を守り伝えていくことで、先人達の精神に触れ、故郷を愛する心と故郷を忘れない心が育まれていきます。

## 5 明 星



【有明の舞岳太鼓】

舞岳太鼓は、平成10年、童話の会「くすのき」のメンバーを中心に小学生から一般までの有志約20名で結成しました。「舞岳」とは、扇状に広がる有明地区の南端にそびえる霊峰で、「舞岳のように勇壮に」との意味も込めてそう名付けました。

結成翌年の、有明総合文化会館の落成式での演奏を皮切りに、これまで日蘭交流400周年記念イベントや市内の催し物、また敬老会や福祉施設での夏祭りなどで演奏してきました。

昨今メンバーの減少により、活動が縮小していましたが、数年前から地元の中学生在が毎年文化祭で舞岳太鼓を披露してくれており、そのための練習などを行っています。